

## 第 3 期：2012 年度第 5 回 理事会報告

■開催日時：2012 年 12 月 23 日（日）

■開催場所：四谷福祉会議室

開催に当たり秋元美世総務担当理事から岩田正美会長が病気療養のため欠席するとの連絡があった。「定款第 42 条」の規程に基づき、理事の中から議長を選出することとなり、秋元総務担当理事が議長となり議事を進行することを確認した。

### 【理事会開会宣言（欠席理事の確認）】

秋元議長が本日の理事会が成立したことを宣言。議事録署名人は、牧里毎治副会長と太田貞司監事、里見賢治監事とすることを確認した。

（欠席理事：岩田正美・山野則子・大島 巖）

### 【審議事項】

#### 第 1 号議案：第 3 期（通算第 24 期）役員の仕事分担について

秋元総務担当理事から学会外関連団体の担当理事を調整したので再提案したとの説明があり、第 3 期理事の仕事担当を満場一致で承認した。

#### 第 2 号議案：広報委員会規程制定について

本規程に関わった金子光一前総務担当理事から提案説明があり、施行年月日を遡り 2012 年 4 月 1 日とすることを確認し、広報委員会規程を満場一致で承認した。

#### 第 3 号議案：2012 年度下半期各種委員会委員委嘱について

秋元総務担当理事から、「前回理事会では委員長と担当理事のもとで委員の選考をお願いし、委員の委嘱は本日の理事会で追認することを承認した。既に各種委員会はそれぞれに委員会を開催し活動していただいているが委員構成が確定したので審議していただきたい」との提案説明があった。また、金子光一全国大会運営委員長から、第 61 回秋季大会を運営するに当たり、2013 年度開催校から委員に畑亮輔氏 1 名追加し 3 名としたいとの提案があった。審議の結果、全国大会運営委員の追加も含め、2012 年度下半期各種委員会委員について満場一致で承認された。

#### 第 4 号議案：2012 年度下半期地域ブロック「地域部会委員」委嘱について

北海道地域ブロック、東北地域ブロック、関東地域ブロック、中部地域ブロック、中国四国地域ブロックから委員の推薦があり、満場一致で承認された。

また、地域ブロックでの手続きの関係で、部会委員が確定していない関西地域ブロックおよび九州地域ブロックについては、次回理事会で審議することを確認した。

#### 第 5 号議案：2013 年度事業計画立案について

秋元総務担当理事から、2013 年度の事業計画及び予算を立案するに当たり、各種委員会及び各地域ブロックの事業計画を提出していただきたい。事業計画は配布資料に提示している 6 項目の重点施策事項を踏まえ 2013 年度における具体的な事業計画を積極的に推進したい。との配布資料に基づいて提案説明があり、重点施策事項と 2013 年度の具体的な事業について満場一致で承認した。

併せて事業計画立案主管部署を確認するとともに各種委員会は 1 月 25 日、各地域ブロッ

クは2月8日までに提出することを確認した。

#### **第6号議案：2013年度予算編成について**

岩間伸之財務担当理事から各地域ブロックの予算書を2月8日までに提出していただきたい、との配布資料に基づいて提案説明があり、満場一致で承認された。

なお、各種委員会の予算は、提案の事業計画と前年度までの予算を踏まえて学会本部で作成することを確認した。

#### **第7号議案：第61回春季・秋季大会について**

金子研究委員会委員長から、本日午前中に研究委員会を開催し、第61回春季大会について協議し、「当事者と向かい合う専門性とは何か」をメインテーマとし、福祉サービスを利用する当事者に対して、ソーシャルワーカーはどのような支援を展開すべきか、という最も基本的な問いに対して、それぞれの立場から論じていただくことになった。コメンテーターとして山辺朗子会員、シンポジストには向谷地生良氏、小西加保留会員他が候補にあがっているとの口頭報告があり、企画案を満場一致で承認した。

引続き、田中耕一郎理事（開催校：北星学園大学）から第61回秋季大会について、国際学術シンポジウムを第2日の午前中に変更することも検討しているとの説明があり、企画内容及び日程の大枠については満場一致で承認された。

併せて金子全国大会運営委員長から、例年5月開催理事会で承認された新会員は、研究発表できることになっているが、第61回大会は、例年より1か月早く開催するため、3月理事会で承認された新会員および3月31日までに入会の申し込みがあった者は発表できることとする、との提案があり、確認された。

#### **第8号議案：会員入会審査について**

秋元総務担当理事から説明があり、追加申込者を含め25名の入会を満場一致で承認した。

##### **【協議事項】**

##### **1. 「定款」改正について**

秋元総務担当理事から、第3期役員を登記する際に東京法務局から役員の交代期について指導があり、定款の一部を修正する必要があるとの概要説明があり、事務局職員から配布資料に基づいて次の経過説明があった。

- ①定款第21条の規定を踏まえ、臨時社員総会で選出された役員登記申請の手続きを行ったが、東京法務局より本来の役員の任期は2年で、事業年度終了後に開催される直近の「社員総会」までとすることが基本的な考え方である。との指摘があった。併せて、定款第21条の秋季大会開催に合わせて開催している「臨時社員総会」での役員選出の方法を修正するか。または定款第5条に定めている事業年度を修正する。ことが適切であるとの指導もあった。
- ②事業年度を変更することは、秋季大会の開催日が一定していないこと、会費の取扱、各種業者との契約等があるため対外的に難しいので、定款第21条を修正することが適切ではないか。
- ③定款第21条を修正した場合、いろいろの課題がある。
  - ①第3期役員の任期期間が1年6カ月となることで名誉会員資格に影響があるので法的な処理必要である。
  - ②代議員選挙および役員選挙にも影響が出るのではないか。このため現在の「代議員

選挙規則」及

び「役員候補者選出規則」を精査する必要がある。

② 役員の任期を修正することで「地域ブロック役員」の任期にも影響するので各地域ブロックとの調整も必要となる。

以上の点をふまえ、次の事項を確認し、運営委員会が中心となり検討することが了承された。

① 定款第 21 条を改正する。

② 「代議員選挙規則」及び「役員候補者選出規則」についても検討する。

③ 各地域ブロックの役員等の任期についても調整する。

④ 次回理事会（2013 年 3 月 10 日）に審議事項として諮り、5 月 26 日開催の「定時社員総会」に上程する日程を進める。

## 2：理事会運営体制について

秋元総務担当理事から、学会の運営を円滑に遂行するための新たな体制について説明があった。

① 「組織・運営に関するあり方委員会の答申」を受け、運営委員会で協議した。

② 学会の中核となる理事会の下に業務の企画・調整・協議機関として「運営委員会」を改組し「役員会」を設置したい。

③ 更に定款第 17 条第 3 項に規定されている「業務執行理事 3 名」を置き、学会の運営が円滑に遂行できるようしたい。そのために「理事会規程」及び「運営委員会規則」を見直すこととなる。

④ 本日の意見を踏まえ、運営委員会（役員会）のもとで整理し、次回理事会で審議し、2013 年 4 月 1 日付で施行する予定である。

以上の点について、「理事会規程」「運営委員会規則」等関連する規程、規則の見直しを運営委員会が中心となり検討することが了承された。

併せて秋元総務担当理事から、学会事務局体制についても業務委託する方向で折衝している、との報告があった。

## 3：英文誌刊行について

秋元総務担当理事から、前期理事会で英文誌を 2013 年度に刊行することが承認されているが、発行形態については具体的に議論されていないので、理事・監事から意見を聞きたいとの説明があった。

木原活信機関誌編集委員長からつぎの説明があった。

① 英文誌は、既刊の「J J S S」を超える存在にするために「社会福祉学（J J S W）」の特別号とし、毎年刊行したい。

② 権威づけを明確にするため通巻番号を付与する。（例：第 54 巻 5 号とする）

③ 刊行形態は、電子ジャーナルでオンラインで公表する共に通常号と同様に会員・定期購読および「A P A S W E」寄贈分を印刷する。

これに対して理事からは、「印刷経費を考慮し、オンラインで公表することが前期理事会で確認されている」、「岩田正美会長からは、国際学术交流促進委員会と連携し、韓国、中国からの投稿を受けて、国際学术交流の一環として発行してはどうかとの意見があった」、「他学会の機関誌は、印刷経費削減のため電子ジャーナル化が進んでいるので紙媒

体で発行は考慮すべきではないか」、「将来的には『社会福祉学』もペーパーレスかを考えてはどうか」との意見が出された。これらの意見を踏まえ、秋元総務担当理事から寄贈分（APASWE）の印刷以外はペーパーレスとすることを前提に「機関誌編集委員会」で再度検討していただきたいとの要請があり了承された。

#### 4：地域ブロック事業推進について（資料なし）

副田あけみ地域ブロック担当委員長から本日午前中の「地域ブロック担当者委員会」での協議し地域ブロック事業推進のため、①地域ブロックの機関誌刊行、②研究大会及び③学会フォーラムの共催等の「アンケート調査」を行い、事業助成金の増額を含み検討することとなったとの報告があり、了承された。

#### 【報告事項】

##### 1. 2012年度上半期予算執行状況及び期中監査報告について

岩間伸之財務担当理事から11月20日に四谷福社会議室で前期監事の杉村宏監事及び小林良二監事に2012年度上半期の予算執行状況を報告すると共に各種証憑書類を点検していただき、事業計画に基づいて経理処理されているとの講評をいただいた、との報告があり、配布資料に基づいて詳細な予算執行状況の報告があった。

金子光一前期総務担当理事から法人の業務に関する両監事の指摘事項について、配布資料に基づいて報告があった。特に学会賞の審査講評については、学会賞の趣旨を踏まえ慎重に取り扱ってほしいとの講評をいただいたので、次回の授賞に際して配慮したいとの報告があった。

##### 2. 第60回秋季大会報告及び予算執行状況について

金子全国大会運営委員長から、11月25日の全国大会運営員会で石川久典第60回秋季大会事務局から秋季大会全体の報告をいただいた。この報告をたたき台にして第61回秋季大会をより充実した大会になるようにしたい、との配布資料に基づいて報告があった。

引続き岩間全国大会運営委員（財務担当）から、大会校への仮払金が未精算であるが、収支差額は約200万円が予測される。との配布資料に基づいて報告があった。

##### 3. 第61回秋季大会「特定課題セッション」コーディネーターについて

金子研究委員長から5名の応募があり、本日の研究委員会で下記の4名とそのテーマを採択した。との配布資料に基づいて報告があり、了承された。

秋山智久会員：社会福祉哲学の意義・枠組：内容

大西次郎会員：学問体系を社会福祉学に置いた、精神保健福祉「学」の構造可能性

永嶋昌樹会員：介護分野における外国および外国人との連携・協力・共生

古川隆司会員：災害が晒け出した構造的課題をソーシャルワークは実践の反省につなげるか

#### 4. 各種委員会報告

##### 1) 国際学術交流促進委員会報告

門田光司国際学術交流促進委員長から「韓国社会福祉学会春季大会」研究発表募集について、配布資料に基づいて報告があった。

##### 2) 研究倫理委員会報告

山縣文治研究倫理委員長から第60回秋季大会の研究発表において研究倫理に抵触することの疑いがあると考えられた2件の発表について審議をした。1件は、前

期理事会で既に対応されていることから審議の対象外とした。もうひとつの研究発表については、12月18日に本人と面談することとなっていたが、本人の体調不良のため面談することができなかった。面談を実施する予定で日程を調整している。との報告があった。

3) 社会学系コンソーシアム報告

国際社会学会国際会議関係の報告があった。

5. その他

1) ソーシャルケアサービス従事者協議会主催「新年賀詞交歓会」について

1月20日に開催される標記の「新年賀詞交歓会」には、担当の牧里每治副会長と田中英樹理事が出席することを確認した。

2) 次回理事会を2013年3月10日(日)13時から「四谷福社会議室」で開催することを確認した。